

令和3年度ながさき農林業大賞受賞者の紹介

お問合せ先
農業振興普及課
0920-45-3038

「ながさき農林業大賞」は、地域の特色を生かした先進的な農林業を展開し、成果をあげている農林業者を表彰し、受賞者をたたえとともにその功績を県民へ紹介することで、農林業・農村の活力ある発展及び消費者の農林業に対する理解を促進する機会とするものです。

長崎県知事賞

トップファーマー部門(しまの農林業経営)において、肉用牛繁殖とアスパラガスの複合経営である山本利夫氏、哲也氏、美萌子さん、江里さんご家族(勝本町)が長崎県知事賞を受賞されました。

畜産では繁殖牛81頭を飼養し、ミルクメーカー活用による省力化、人工哺乳による子牛の事故率低減、自己経営以外の飼料作物作業委託を行っている上、面積5.1aのアスパラガスでは土づくりこだわり、立茎管理を徹底することで単収4tの高収量を達成されています。また、杵岐牛研究会会長や農業士として、地域の若手リーダーとして活躍されているほか、狩猟免許をお持ちで、昨年度は杵岐ではまだ繁殖が確認されていないイノシシを仕留めるなどの地域貢献が評価されました。



【写真左：山本氏ご一家、写真右：作業風景】

運営委員会賞

げんきビレッジ農産加工部門において、農事組合法人杵岐ゆず生産組合(芦辺町)がながさき農林業大賞運営委員会賞を受賞されました。

昭和58年に前身である当田ゆず生産組合を設立し、平成26年には「杵岐産ゆずの付加価値を高め、栄養価が高い無添加食品を提供する」との経営理念を掲げ、法人化されています。

その後も6次化プランナーやJA加工部会、直売所、地域スーパー等と連携した商品開発や商品のブラッシュアップ、販路開拓に努められ、加工商品数は現在10種類に及び、うち「ゆずの香」、「ゆずマーマレード」、「ゆず佃煮ゆべし」、「ゆずこしょう」は長崎四季畑の認証を得ています。

ゆず加工品は、給食センターや病院、各家庭でも利用され、地域住民に地元の食材として親しまれており、食育の推進や農産加工の発展と地域の伝統・食文化にも貢献されている点が評価されました。



【写真左：長崎四季畑の商品、写真右：ゆず生産組合メンバー】